

「異文化コミュニケーション」



商学部教授
林田博光先生 ご紹介

子供の頃からお両親の関係で、外国の人達との交流が多かった林田先生は、文化を越えた人間の付き合い方を知らず知らずのうちに身につけられたのかもしれない。「外国との商売をしたかった」そうおっしゃる先生は、その為には、外国語をマスターしなければならないと考えていた。そんな先生の現在の肩書きは、中央大学国際交流センター所長であり、商学部で「ビジネス英語」を講義する教授である。外国人と付き合い、外国との商売をすることを夢見る学生達に、その基本となる方法を伝えているのである。先生が初めて海外へ出た時、その流暢な英語から日本人だということを

信じてもらえなかったという話も聞いている。そんな先生が、外国人とどんな接し方をしているのか、トラブルがあった時どう対処しているのか、非常に興味があるところである。人間同士のコミュニケーションの秘訣、ポイントを教えていただきたい。

(広報課 渡辺記)

「よそ者を理解しようと思うな」
「よそ者に理解してもらおうと思うな」
「なぜなら彼らは異人種なのだから」

この言葉は、映画「ラスト・オブ・モヒカン」に出てくるフレーズです。はたして本当にこの言葉どおりでいいのでしょうか。もし、この言葉のままならば、世界は戦争が果てしなく続いてしまうような気がしてなりません。

1. 何が人間同士のコミュニケーションを邪魔しているのか

言葉の違い?	年齢の違い?
性の違い?	習慣の違い?
性格の違い?	人種の違い?
血液型の違い?	宗教の違い?
星座の違い?	歴史の違い?
家庭環境の違い?	気候風土の違い?

2. どんないトラブルが生まれているのか

- 日本人が外国で感じること
 - ・ 何故こんな物を平気で売ってんの?
 - ・ 何故こんなに冷房がきついのか?

- (4) ゲーこれ食べるの？
- (5) お客に対してもう少し丁寧に接客して欲しいんですが！
- (6) 「来週打ち合わせしましょう」は、打ち合わせ中止の合図？
- (7) 約束の時間は、破るためにあるの？
- (8) どうしてこんな時に冗談が言えるの？
- (9) 主張しないと話が進まないのは何故？

○ 外国人が日本で感じること

- (1) 靴で家に入れないのはなぜ？

多くの外国人が最初に戸惑うのが、靴を脱いで家に入ることかもしれません。

- * 習慣の違い？
- * 気候風土の違い？

- (2) 蕎麦は、音をたてて食べるから美味しいのに！

蕎麦のようなものを音をたてて食べるのは、本当に失礼にならないのでしょうか？

- * 習慣の違い？

- (3) ゲーこれ食べるの？

納豆や梅干しを嫌がる外国人も、日本の生活に慣れてくると食べるようになったりします。そういえば、関西の人が納豆を食べないという話をよく聞きます。

- * 習慣の違い？

- (4) 「どうぞ」という言葉の裏と表ってどんな意味？

「近くにこられた時は、どうぞお寄りください。」と言われたんですが、本当に行ってよいのでしょうか？

- * 習慣の違い？

- (5) 何故「何もありませんが…」と謙遜するの？

「何もありませんが…」と言って、いろいろなご馳走が出てきました。自慢にしか聞こえないのですが。

- * 習慣の違い？
- * 性格の違い？

- (6) 「送って欲しい」と何故言わないの？

「明日、朝早くアメリカへ出発するんだ。」

「気をつけて行ってらっしゃい。」

「ところで君はいい車を持っているね。」

「ありがとう。燃費もスタイルも抜群だよ。」

「ぼくの車は故障中で役立たずさ。」

「どこのメーカーの車？」

「**のだ。明日の朝は、仕事？」

「いや、お休みさ。何で！」

「いや何でもないけど。」

「もしかして、車で送って欲しいの？」

「実はそうなんだけど。」

「どうしてはっきり言わないの？」

「悪い気がして…」

「だめならだめと言うのに」

- * 習慣の違い？
- * 性格の違い？
- * 年齢の違い？

(7) このメッセージの翻訳は、誰がしたの？

トムジョーンズが、復活したプレスリーに「Brake a leg」というメッセージを送った。このメッセージを「お前の足なんか折れちまえ！」と訳した人がいた。アメリカ人同士なら、不吉な言葉を贈ることで「幸運を祈る」という意味であることがすぐ分かったのに、そのまま「足が折れる！」と訳してしまう、言葉のギャップ誤解は大きいですね。

* 言葉の違い？

* 習慣の違い？

(8) 上司が「会社で私用電話をしても良い」と言ったのに、どうして解雇するの？

ある会社に雇われた外国人に向けて、社長が「国に電話してもかまわないからね。」と言った。喜んだ外国人は、毎日のように様子を知らせ、悩みやその日にあったことを報告した。すると翌月電話代を確認した社長が、そんなに電話するとは何事だと言って、彼を解雇してしまった。

* 習慣の違い？

* 家庭環境の違い？

* 性格の違い？

(9) あなたが大丈夫だと言うからこの国で商売をしようとしたのに！

日本人が、ある国で日本を相手に商売を考えている外国人とであった。外国人は、その日本人に「この品物は、日本でも売れますか？」と聞いた。日本人は、どうかな...??と半信半疑ながらも、相手を傷付けないために、「売れるんじゃないかな！ まあ、日本に来ることがあったら、うちの会社によって下さい。」と社交辞令を述べてしまった。はたしてその外国人は、品物を携えて日本に乗り込んできた。結果は、悲惨な状況になってしまった。

* 性格の違い？

* 習慣の違い？

4. どうすれば埋まるのか、これらの溝は？

(1) 言葉を勉強するのが最も大切

言葉は、文化を理解する上で一番重要な手段です。まずは言葉を勉強して、相手と直接話し合うことが大切です。

(2) 理解しようとする気持ちが大切

たとえ言葉が通じても、自分の文化だけを言い張れば、意味はありません。

(3) 理解するまで時間が掛かることを念頭に入れておくことも大切

その国に住んで、積極的に理解しようとしている人で、2-3年掛かるのではないのでしょうか。とにかく積極的に、しかも時間をかけて。

(4) 人を国ごとに区分けしない

ステレオタイプに惑わされない。

例えば、「アメリカ人は***である」「タイ人は***だ」と言って決め付けることが一番いけない。

(5) 人を性別で区別しない

男だから、女だからという意識は捨てるべきである。

(6) 人を性格で区分けしない

あの人は、血液型がA型だから***な人、この人は、動物占いでペガサスだから***な人などと決めつけないことが大切である。

(7) 原因の分析

トラブルが起きた時、どんな原因（先に列挙したコミュニケーションを邪魔している要因を分析してみる）からトラブルが発生したのかをよく考えてみよう。そこから解決策を導き出そう。もしかしたら、習慣の違いと考えていたことが、実は、個人の性格の違いから起こってしまったものなのかも知れないのである。

キーワード

- * 異文化理解は、国や地域や人種などという枠組みから理解するのではなく、人間一人一人、個々人の理解を深めることから始めるのが最も大切なことである。

取材レポート

1992年、私はアメリカのイリノイ大学の研究員として、家族ともども住んだことがありました。私がおその地で研究していたことは、コンピュータネットワークが、アメリカと日本との文化の違いにより、活用状況にどんな変化をもたらすかといものでした。衣食住についてのレポートはもとより、生活習慣におけるおもしろい事例をレポートにまとめてパソコン通信という手段で日本に伝えていました。当時、日本人がネットワークを利用してコミュニケーション活動を行うことは、一種「お宅」的な捉えられ方がされており、私自身、文字によるコミュニケーションの限界を肌身で感じている頃でした。ところが、この時期にイリノイ大学で研究開発されていたのが、現在インターネットの主流となった「ホームページを見る仕組み(ネットスケープの前身であるモザイクというシステム)」だったので。画像をネットワークで見ることが出来る仕組みは、受け身的な文化が主流の日本にとって、テレビに匹敵する大発明でした。帰国後その話を多くのネットワーク技術者にお話したことがありました。その内容の殆どが、今回のテーマである異文化コミュニケーションについてだったようです。私は取材を重ねるうち、それぞれの人間が、コミュニケーションの手段としての言葉を使って、文化や習慣を作っていくことが分かった気がします。そして、ある意味では、比較的似た文化を持つ人達が、一つの国を作り上げていったのではないかと思うのでした。これからは、この文化の違いを十分に理解しながら、より新しい信頼関係を作っていきたいと思いました。

(広報課 渡辺記)